

南ア月報  
(2020年1月)

【内政】

- 南ア黒人起業家リチャード・マポーニャ氏の逝去
- 与党ANC創立108年記念ラリーの開催

【外政】

- アビー・エチオピア首相の南ア訪問
- アフリカ大使会議におけるラマポーザ大統領の講演
- キール南スーダン大統領の南ア訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産

<出来事>

- Eskomの新CEOの就任
- 南アフリカ準備銀行が政策金利を6.5%から6.25%に引き下げ
- 南アフリカ航空が南部アフリカ銀行から35億ランドのローンを確保
- 科学産業研究評議会が2019年の計画停電における経済的損失額を発表

【広報・文化】

- 2020年東京大会『復興「ありがとう」ホストタウン』宮城県岩沼市長の南ア訪問

【警備】

- 年末年始の交通死亡事故発生状況
- オリバータンボ国際空港からの追尾強盗

## 1 内政

### ●南ア黒人起業家リチャード・マポーニャ氏の逝去

6日、南ア黒人起業家リチャード・マポーニャ（Dr. Richard Maponya）氏が逝去した。マポーニャ氏の逝去を受け、ラマポーザ大統領は声明を発出し、アパルトヘイト時代に成功を収めた先駆者であり、南ア経済の人種的改革への道を開いた同氏を称えた。14日に執り行われた葬儀は「Special Official Funeral」として位置づけられ、ラマポーザ大統領、ムベキ元大統領をはじめとする多くの政府関係者及び著名人が参列した。

マポーニャ氏は、1964年のアパルトヘイト時代に黒人ビジネスマンのために全国アフリカ連邦商工会議所（Nafcoc）を設立、2007年にはソウェト地区に「マポーニャ・モール」をオープンさせた。

### ●与党ANC創立108年記念ラリーの開催

11日、北ケープ州の州都キンバリーにおいてANC創立108年記念ラリーが開催され、ラマポーザ大統領（ANC総裁）が総選挙に向けたマニフェストの表明演説を行い、ガバナンスと国家能力の強化、国民統合、投資・雇用・包摂的な成長、土地改革と貧困削減、より良いアフリカ建設を基本方針として表明した。ラリーには2.5万人が参集し、ラマポーザ大統領の特別ゲストとして、昨年12月にノーベル平和賞を受賞したアビィ・エチオピア首相が祝辞を述べた。また、ラマポーザ大統領は、はジャブ・マブーザ電力公社ESKOM会長の辞表を受理した旨を発表した。

## 2 外政

### ●アビィ・エチオピア首相の南ア訪問

12日、エチオピアのアビィ首相が南アを訪問し、ラマポーザ大統領と会談した。両首脳は、植民地独立運動や反アパルトヘイト闘争の時代から続く友情を確認し、両国間の投資や貿易をより発展させていくことに合意した。両首脳は、南アが安保理非常任理事国としてアフリカの立場を擁護していることを確認した。両首脳は、国際機関の意思決定において、アフリカ含む新興国や途上国の声と代表性を高めていくことに合意した。また、両首脳はテロ対策のために国際社会と連携していくことを確認した。

### ●アフリカ大使会議におけるラマポーザ大統領の講演

28日、ラマポーザ大統領は、アフリカ諸国に駐在している南ア大使を国際関係・協力省に集め、AU議長国としての方針を示す講演を行った。同大統領は、AfCFTA（アフリカ大陸自由貿易圏）の実現のために必要な交渉を始めることや、アフリカ大陸のインフラ開発、女性のエンパワーメントを進めることの重要性を述べた。また、リビアと南スーダンというアフリカの二つの紛争を特に重視し、取り組んでいくことを強調した。

### ●キール南スーダン大統領の南ア訪問

1月30日から2月1日にかけて、南スーダンのキール大統領が南アを訪問した。キール大統領はラマポーザ大統領と会談し、農業、水資源、インフラ開発、運輸、鉱業、電力、石油及び天然ガス等の分野における協力に関し協議した。両首脳は、「南スーダンにおける衝突の解決に関する再活性化された合意（R-ARCSS）」に関しても話し合った。マブーザ副大統領が大統領特使として、IGAD（政府間開発機構）と連携し、南スーダンにおける調停活動を行っている。

### 3 経済

#### <経済指標>

##### ●消費者物価指数 (CPI)

2019年12月の消費者物価指数 (CPI) は、前月に比べ0.3%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は4.0%と前月に比べ0.4%上昇。(南ア統計局、1月22日)

##### ●為替レート

2020年1月31日付 (南ア準備銀行)

7.3440 ランド/円

14.8455 ランド/米ドル

16.3709 ランド/ユーロ

##### ●製造業生産高

2019年11月の製造業は、前年同月比3.6%減。10部門中9部門でマイナス成長となった。主なマイナス要因は、木材および木材製品、紙、出版及び印刷で9.3%減。自動車及び輸送機器関連製品で10.0%減。また過去3ヶ月(9~11月)の季節調整後生産高は6~8月からの生産高と同じ水準であり、製造業10部門中3部門で生産高増となった。(南ア統計局、1月9日)

##### ●鉱業生産高

2019年11月の鉱業生産高は、前年同月比3.1%減。主なマイナス要因は、白金で13.5%減。鉄鉱石で7.5%減。石炭で2.8%。また過去3ヶ月(9~11月)の季節調整後生産高は6~8月に比べ0.9%減となった。(南ア統計局、1月9日)

#### <出来事>

##### ●Eskomの新CEOの就任

6日、国営電力会社Eskomの新CEOにアンドレ・ド・レイタ (Andre de Ruyter) 氏が就任した(新CEOについては、昨年11月に発表済)。レイタ氏の最大の任務はEskomを3つのユニット(発電、送電、配電)に分割することであり、就任後のインタビューでは、老朽化した火力発電所のメンテナンスに焦点をあて、それに伴う計画停電も辞さない考えであることを述べた。同氏は昨年まで、南ア大手容器包装材メーカーNampakのCEOを務めた。

##### ●南アフリカ準備銀行が政策金利を6.5%から6.25%に引き下げ

南アフリカ準備銀行は、1月16日に金融政策決定会合を開き、政策金利を6.5%から6.25%まで引き下げることが発表された。また、2020年のインフレ率予想を4.7%と発表し、GDP成長率も1.2%へと引き下げた。

##### ●南アフリカ航空が南部アフリカ銀行から35億ランドのローンを確認

民事再生手続き中の南アフリカ航空は、35億ランドのローンを南部アフリカ銀行から確保した。これにより、南ア航空は事業を続けることが可能になり、更生管財人は持続可能なビジネスへと再建するための期間を設けることができるようになった。

#### ●科学産業研究評議会が2019年の計画停電における経済的損失額を発表

科学産業研究評議会（CSIR）は、2019年に発生した計画停電における南ア経済への損失額は590億ランドから1、180億ランドの間であると発表した。老朽化の進んだ発電所の、電力生産機能は低下していく一方であり、政府の意思決定によっては、計画停電は今後2～3年は続くと予想される。

#### 4 広報・文化

##### ●2020年東京大会『復興「ありがとう」ホストタウン』宮城県岩沼市長の南ア訪問

20日～23日、菊地啓夫岩沼市長が『復興「ありがとう」ホストタウン』として南ア交流の機運を醸成するため、また、東日本大震災での支援に対する感謝の意を伝えるため、南アを訪問し、南アオリンピック委員会及び南アレスキューチームとの意見交換を行ったほか、クロフォード校（プレトリア）において南アフリカの小学校と岩沼小学校とのテレビ会議交流を実施した。テレビ会議で子供たちは、お互いの町や学校の紹介、お互いの国家を歌い、東京オリンピック・パラリンピックの質問をするなどして盛り上がった。

#### 5 警備

##### ●年末年始の交通死亡事故発生状況

南ア政府から年末年始における交通死亡事故に関する統計が発表された。統計は、2019年12月1日から2020年1月15日までの交通事故死者数に関するもので、この期間中の交通事故死者数は1、617人であり、前年同期の1、789人から10パーセントの減少となった。州ごとの内訳を見ると、全国9州のうち最も死者数が多かったのはクワズールー・ナタール州の354人、次いでハウテン州の254人となっている。

##### ●オリバータンボ国際空港からの追尾強盗

27日、オリバータンボ国際空港に到着後、乗用車で自宅に到着した人が追尾強盗の被害にあった。被害者が自宅の門前に到着したところ、後方を塞ぐように強盗の車が止まり、降りてきた犯人から拳銃を突きつけられて、スーツケース等を強奪された。この他にも同空港からの追尾強盗は複数発生し、自宅や目的地となるホテルが空港から遠くても被害が起きていることから、空港からの帰路は通常以上に周囲の状況に警戒する必要がある。